****** 点字印刷ソフト BプリントI使用説明 ******* この度は「B プリント」をご利用いただきまして誠にありがとうございます。 このソフトはフリーウェアです。ご自由にご利用ください。 このソフトは、各種 Windows の環境から点字プリンタに出力する、印刷専用ソフトで、 出力できるファイルは、次の形式のものです。 *.BSE BASE、Tエディタ、ういんびーなど Win-BES 99、 点字 編集 システム *.BES 但し、図形は「点」で描かれたもののみ出力可能 コータクン *.NAB 図形点訳ソフト「エーデル」 *.EDL 出力先は、Windowsのプリンタ出力先として指定できる場所は全て可能です。 ・ローカルのシリアル・ポート (RS232C) (USB-シリアル変換ケーブルが利用できます。) パラレル・ポート(セントロニクス) (USB ー パ ラ レ ル 変 換 ケ ー ブ ル は 利 用 で き ま せ ん。) ・ネットワークに接続されたプリンタ 利用できる点字プリンタは、次のものです。 (有) レンテック

• T E N - 1 0 0 、 T E N - 1 0 • New E S A 7 2 1 、 E S A 7 2 1 (株) ジェイ・ティー・アール NABCC(北米点字コード)対応機

目次

- 1. インストール
- 1-1 Bプリント
- 1-2 プリンタの追加
- 1-2-1 周辺機器ドライバ
- 1-2-2 プリンタの追加
- 1-2-3 プリンタの設定
- 2. 使用方法

2- 1 起動

- 点 字 プリンタ 2 — 2
- 2 ファイル З
- 2- 4 図形出力
- 2 5 改頁出力
- 2 範囲 6
- 2 2 7 部数
- 印刷 8
- 2- 9 終了
- 2-10 ショートカットキー
- 3. 使用上のご注意
 - 3-1 ファイルの選択
 - 3-2 スプール
 - 3-3 点字プリンタの接続

有限会社 レンテック Copyright (C) 2006 - 2011 LENTEK Corporation

1. インストール

「B プリント」を使用するには、「B プリント」本体のインストールとプリンタの追加をする 必要がありますが、この作業は、どちらを先にされても構いません。 尚、説明は Windows XP でしておりますが、他の Windows でも、表現が多少変わるだけで、 内容はほぼ同じです。

1-1 Bプリント

 入手された BprintXXX.exe (XXX はバージョン番号)を実行してください。
 スタート」ー「ファイル名を指定して実行」で「OK」ボタンを押すか、 または、エクスプローラで BprintXXX.exe をダブルクリックします。
 アリント 標準設定では(C:) ¥ProgramFiles¥LENTEK¥BPrint¥ に BPrint.exe が インストールされ、デスクトップに「B プリント」の アイコンが作成されます。

*アンインストールするには、「スタート」-「すべてのプログラム」-「Bプリント」-「Bプリントのアンインストール」または「コントロール パネル」-「アプリケションの追加と削除」から「B プリント」選んで削除を実行してください。

1-2 プリンタの追加

1-2-1 周辺機器ドライバ

点字プリンタをパソコン本体のシリアル・ポート(COM1, COM2)やパラレル・ポート (セントロニクス)(LPT)に、直接に接続される場合は必要ありませんので、 次の項目(1-2-2 プリンタの追加)に進んでください。

USB ポートに、USB ーシリアル変換ケーブルを使われる場合は、 それをパソコンに接続してください。 新しいハードウェアが検出され、プリンタドライバのインストールが始まりますので、 変換ケーブルの説明書に従ってドライバをインストールしてください。 インストール後は、「マイ コンピュータ」-「システム」-「デバイスマネージャ」で、 「ポート(COM と LPT)」または「USBコントローラ」の中に接続した機器が表示される ことを確認してください。

・「ポート(COM と LPT)」では、USB-SERIAL CONVERTER(COM?) ……など

・「 USBコントローラ」では、USB 印刷サポートなど

LANに接続して、プリントサーバを利用される場合は、機器を接続して 必要なドライバをインストールしてください。

詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書に従ってください。



USBーシリアル変換ケーブル エレコム UC-SGT

上図のものは弊社で動作確認済みの変換ケーブルですが、 全ての環境で動作を保証するものではありません。 お求めの際には、ご使用の Windows に対応しているかお確かめください。

1-2-2 プリンタの追加

「プリンタ追加のウイザード」でプリンタを一つ追加します。 「コントロールパネル」—「プリンタとFAX」で "プリンタのインストール"を開始します。

前述の USB やネットワークに接続する場合で、まだ準備ができていない時でも、 接続先は後で変更可能ですので、まずは適当なものを選んで進めてください。



「プリンタの追加ウィザード」を 全て設定は変えずに、そのまま「次へ」を 押して進みます。



途中で、プリンタの機種を指定する ところがありますが、どのプリンタでも 構いません。適当なものを選んでください。

プリンタドライバも Windows 標準のもの を使用します。

印字テストはしないで完了してください。



「プリンタの追加ウィザード」を完了すると 「プリンタとFAX」に新しいプリンタが 追加されております。 プリンタ名は、上で選んだ適当なものに なっております。 *

これをマウスの左ボタンで選び、マウスの 右ボタンをクリックして、「プロパティ」を 選び、次の「プリンタの設定」に進みます。

*次の「1-2-3プリンタの設定」の項の最初でプリンタ名を変えますが、 上記の「名前の変更」を選んで変更することと同じです。 Windowsのバージョンによっては、ここで変更してください。

1-2-3 プリンタの設定

「コントロールパネル」 - 「プリンタとFAX」で先ほど追加したプリンタを マウスの左ボタンで選び、マウスの右ボタンをクリックして「プロパティ」を開きます。

B HUFA-ACC	
全般 共有	USet vb2.3 のフロバティ イズ
	TEN-10
場所(1):	
1010	4054 Aug Cut 522
機能	AGP AT ACCUSET V02.3
色: いいえ 両面: いい	利用可能な用紙。 P A4
ホチキス止め	- D: (V()ž
速度: 1 ppi 最高解像质	m ∰:3000 dpi
	ED刷絵定の。 テストページのED刷(CD)
<u> </u>	OK キャンセル 適用(A)
AGFA-Acc	uSet v52.3 ወታቢ/ና / ? 🔀
	20 1 stridsp.de 77.Y1 X0/sp.de
印刷するボー ドキュメントは、 印刷されます。	ト(P) チェック ボックスがオンになっているポートのうち、最初に利用可能なもので
ポート	説明 プリンタ 🔼
LPT3:	プリンタ ポート シリアル ポート
□ COM3: □ COM4:	シリアル ポート シリアル ポート
COM2:	シリアル ポート ファイルへ出力
ポートのぇ	É加① ポートの補成② ポートの構成◎
図方向サオ	ペートを有効にする(E)
	-∿⊊#XX2390
	OK キャンセル 適用の
COM1070	K74 🛛 💽 🛛
ポートの設定	
ボートの設定	
ポートの設定	Ey1/#b(B): 96000
ボートの設定	ビット/秒(g): 9600 ・ データ ピット(): 8
ポートの設定	ビット/秒(B): 9600 マ データ ビット(D): 8 マ
ボートの設定	ビット/杉/(日): 9600 ・ データ ビット(D): 8 ・ パリティ(日): なし ・
ポートの設定	Ĕ9F/Æ)(B): 9600 ♥ データ Ĕ9F(B): 8 ♥ /∜リティ®: なし ♥ ストップ Ĕ9F(S): 1 ♥
ポートの設定	ビット/秒(B): 9600 データ ビット(D): 8 パリティ(D): なし ストップ ビット(S): 1 フロー制調(E): ½00//0ff
ポートの設定	ビット/杉(母): 9600 データ ビット(D): 8 パリティ(中): なし ストップ ビット(S): 1 フロー制(時(E): Xon/Xoff
ポートの設定	ビット/秒(Q): 9600 データ ビット(Q): 8 パリティ(Q): なし ストップ ビット(Q): 1 フロー制御(E): 1/201/2015 既定値に戻す(Q)
ポ−トの 設定	ビット/杉/(日): 9600 データビット(D): 8 パリティ(P): なし ストップビット(S): 1 同一制御(E): ¥on/Xoff 反定値(こ戻す(E)) OK キャンセル 通用(A)
★→トの設定	ビット/杉(魚): 9600 マ データビット(Δ): 8 マ パリティ(型): なし マ パリティ(型): なし マ フロー参川御(型): 次のパ/(off) マ 既定値(正葉す(型)) 0K ● K キャンセル 道用(A) 1
★→トの設定 ★GFA-Acc 全般 共有	ビット/秒(g): 9600 ♥ データビット(D): 8 ♥ パリティ(D): 8 ♥ パリティ(D): なし ♥ ストップビット(S): 1 ♥ フロー制御(D): Kon/Xoff ♥
AGFA-Acc 金般 単純 ● MGFA-Acc 金般 単純 ● MGEN目	ビット/杉(Q): 9600 ♥ データビット(Q): 8 ♥ パリティ(Q): 2 ↓ ストップ ビット(Q): 1 ♥ フロー却(約(Q): ※on/Xoff ♥
* AGFA-Acc 全般 共有 ③ 常知時回 ④ 開始信仰 優先順位少	ビット/秒(目):9600 ● データ ビット(D):8 ● パリティ(P):なし ● パリティ(P):なし ● パリティ(P):なし ● パリティ(P):なし ● パリティ(P):なし ● パリティ(P):なし ● アロー制御(P): ● 反定値(定見す(P) ● OK キャンセル 切手・算確認定 デパイスの設定 ● 「酸型 ● ● ●
AGFA-Acc 金融 共考 ③ 常近7月16 ④ 開始(型) 優先順位公 ドライバ公2	ビット/杉/(目): 9600 データビット(D): 8 パリティ(P): なし ストップビット(S): 1 マロー制御(E): ¥on/Xoff のK キャンセル 適用(A) USet v52.3 のプロ/5ィ (アン) 1 (アン)
米ートの設定 AGFA-Acc 金歳 共有 ② 常気ブリ用 (開始信) 優先順位父 ドライバ公グ ③ 印刷ドキュ	ビット/杉/(日): 9600 データビット(D): 8 パリティ(P): なし ストップビット(S): 1 マロー制御(E): Won/Xoff のK キャンセル 適用(A) USet v52.3 のプロパライ (学) ズ (ホート) 詳細設定 デパイスの設定 「遊覧」 000 () ポー、000 () 単分の) () ポー、000 () () ポート) (
* AGFA-Aco 全般 全般 第27月1日 (第25月) (第25月) (第54月) (第54	ビット/杉/(母): 9600 ・ データ ビット/(杉/(母): 9600 ・ データ ビット(ロ): 8 ・ パ切ティ(中): なし ・ ストップ ビット(S): 1 ・ アロー制御(中): 次のパンのff ・ 原定値(2戻す(中)) のK キャンセル 通用(会) USet v52.8 のプロ/5ィ ・ 原定値(2戻す(中)) のK キャンセル 通用(会) USet v52.8 のプロ/5ィ ・ 原定値(2戻す(中)) のK キャンセル 通用(会) ジョート 詳細設定 デ/(イスの設定) 「単一〇 AGFA-AccuSet v52.3 ・ 新仏/ドライ/5(型) ジントキステール、フロラちムの印刷(SHE)を新し/Article SUT) ポートない、まなの
AGFA-Action 全般 子名 ● 第62月月日 ● 第62月日 ● 第715日 ● 第62月日 ● 第715日 ● 第62月日 ● 第63月日	ビット/杉・(日): 9600 データ、ビット(D): 8 パリティ(P): なし パリティ(P): なし ストップ、ビット(S): 1 フロー制御(E): ※のパメのff WE(値に戻す(P)) (P) (D) (P) (P) (P) (D) (P) (P) (P)<
AGFA-Acc 金紋 東京 ● 常気に利用き ● 開始(母) ● 読む用き ● 日朝ドキュ ● マイに ● マインに ● フリンダに広い	ビット/杉・(日): 9600 マ データ ビット(D): 8 マ パリティ(P): なし マ パリティ(P): なし マ フロー制御(E): ※のパン(ff) マ アロー制御(E): ※のパン(ff) マ アロー制御(E): ※のパン(ff) マ のK キャンセル 通用(会) ・ いたちょくりを2.3 のブロパワイ ? アントを2.7 ・ルン コグラムの印刷絵画を読い(行うな) ジ ジジのデッキなステールにから、印刷デークをカン(内に送るの) ・ 日銀子の一クなどあるの) ・ ドキュントを指定(日間) ・ ドキュントを指定(日間) ・ ドキャンセント ・
AGFA-Acco 金岐 共寿 ● 第回利用 開始(母) (第二利用 開始(母) (第二利用 (日本) (第二利用 (日本) (日本) (日本)	ビット/杉/(Q): 9600 ビット/杉/(Q): 9600 データ ビット(Q): 8 /(切うィ(Q): なし ストップ ビット(Q): 1 フロー制御(E): Xon/Xoff アロー制御(E): Xon/Xoff 取定値(定戻す(Q) のK キャンセル 通用(A) WSet v52.3 のブロ/5ィ アズート 詳細設定 デ/1/2の設定 T変型 00
* AGFA-Acco 全般 共考 ● 常気70時 開始(日) ● 常気70時 開始(日) ● 日期1000 第1000 ● 日期1000 日期1000 ● 日期1000 日期1000 ● 日期1000 日期1000 ● 日期1000 日日期1000 ● 日期1000 日日期1000 ● 日期1000 日日期1000 ● 日期1000 日日1000 ● 日日1000 日日1000 ● 日1000 日日1000 ● 日1000 日1000 ● 日1000 日1000	ビット/杉(母): 9600 データ ビット(D): 8 パリティ(P): なし ストップ ビット(S): 1 フロー制御(E): Xon/Xoff アロー制御(E): Xon/Xoff (文): 1 マーー制御(E): Xon/Xoff (文): 1 (文): 2 (文): 2 ((T): 2 (T): 2 (T)
 ★ - FO 設定 全般 共有 ● 第(2) 明示 ● 第(2) 明示 ● 印刷(本1) ● 全般 ● 印刷(本1) ● 全般 ● 日刷(本4) ● 日刷(本4) ● 日刷(本4) ■ 日刷(\pi4) ■	ビット/杉(母): 9600 データ セット(D): 8 パリティ(中): なし パリティ(中): なし フロー制御(中): パロパン(ロー アロー制御(中): パロパン(ロー 夏田一制御(中): パロパン(ロー (日): (日): (日): (日): <



先ず、「全般」タブを選び、 プリンタの名前を「機種名」や「点字プリンタ」 などに変えます。 「 B プリント」は、このプリンタ名の中に 「 T E N - 1 0 0 」、「 T E N - 1 0 」、 「New ESA721」、「ESA721」という 単語があると専用の制御コードを出力します ので、これらの機種では必ず名前に含ませてください。 * E S A 7 2 1 は、New の 有 無 で 図 形 印 刷 の 可否が変わりますのでご注意ください。 その他の点字プリンタでは、名前の中に全角文字 で「片面」または「両面」という文字を 必ず含ませてください。 この文字が無いと「Bプリント」は、 点字プリンタ として認識しません。 尚、両面機でも片面モードにしているときは、 「片面」という文字を含む名前にしてください。 例."機種名+ 片面(または両面)' 次に、「ポート」タブを選び、 点字プリンタの接続先を選びます。 USB-シリアル変換ケーブルを利用する場合は、 直接ハードウェアが表示されないので、COMの 何番かがすぐに判りません。 その場合は、ディバイスマネージャの 「ポート(COM と LPT)」で確認してください。 点字プリンタの接続先をCOM?(シリアル) にした場合は、「ポートの構成」ボタンを押して、 通信速度などを設定します。 (LPT (パラレル)の場合は不要です。) 「TEN-100」、「TEN-10」の場合は、 次のように設定します。 ・ビット/秒 9600 ・データビット 8 ・パリティ ・ストップビット なし 1 ・フロー制御 Xon/Xoff 他の機種でもプリンタに合わせた設定にして ください。 次に、詳細設定タブを選び、 設定が次のようになっていることを確認します。 ・常に利用可能。 ・印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの 印刷処理を高速に行う ・すぐに印刷データをプリンタに送る。 ・スプールされたドキュメントを最初に印刷する。 全ての設定が終わりましたら、

「適用」ボタンを押し、「OK」ボタンで プリンタのプロパティを閉じます。

「プリンタとFAX」でプリンタが 新しい名前に変わっていることを確認 します。

2. 使用方法

2-1 起動

デスクトップ上の「B プリント」のアイコンをダブルクリックします。 アー・ Bブリント

🎬 B プリント 有限会社 レンテック	
点字ブリンタ(1) ブリンタ名(2) TEN-100	<u>閉じる(Q)</u>
接続場所 COM2	バージョン(火)
ファイル(3)	
A¥TEST.BSE ファイル参照(4)	□ 図形 (Z)
32 字/行 18 行/頁 40 頁 図形む	₩ 改頁 (K)
印刷範囲(5) 部数 開始 終了 印刷面 「1頁 40頁 ① 全頁(片面) (S) (6) (7) ① 全頁(向面) (W)	ED席水P)

2-2 点字プリンタ

「Bプリント」を起動すると、コントロールパネルの「プリンタと FAX」の 中から、「TEN-100」、「TEN-10」、「ESA721」、「NewESA721」または「片面」、 「両面」を含むプリンタ名を探し、プリンタ名のコンボボックスのリストに 自動的に加えますので、印刷に使用する点字プリンタをその中から選択します。 尚、Bプリントを終了するときに選択したプリンタ名と改頁の状態は保存され、 次回の起動時には同じものが選択されます。

2-3 ファイル

印刷ファイル名は、ファイル名欄に直接キーボードから入力できません。 「ファイル参照」ボタンを押し、ファイル選択ダイアログのファイル名欄に 入力するか、リストからファイルを選びます。

「TEN-100」、「TEN-10」、「New ESA721」以外の 点字プリンタでは、図形点訳ソフト「エーデル」(*.EDL)と WinBES 99 または 点字編集システム(*.BES) の図形データは印刷されません。 また、点字プリンタが「TEN-100」、「TEN-10」または 「New ESA721」でも、WinBES 99 (*.BES)の図形データは、「点」で 描かれたものしか印刷されません。

2 - 4 図形出力

~ 点字プリンタが「TEN-100」、「TEN-10」または 「New ESA721」で、ファイルに図形データを含む場合は、図形出力の チェックボックスにチェックが入ります。

「エーデル」 (*.EDL) のデータの場合は、「図形のみ」のデータですので 薄い表示となり変更できなくなります。 WinBES 99 (*.BES) のファイルで図形データを含む場合は、チェックボックス

WINBES 99 (*.BES) のファイルで図形テータを含む場合は、チェックホックスの変更が可能な表示になり、このチェックを外しますと図形データは出力されません。

2-5 改頁出力

点字プリンタ名に「片面」、「両面」を含む機種の場合は、 チェックボックスにチェック を入れると、各頁データの間に改頁信号が 出力されます。プリンタに合わせてお選びください。

点字プリンタが「TEN-100」、「TEN-10」、「New ESA721」、 「ESA721」の場合には、常にチェックが入り、薄い表示となり、 変更できません。

2-6 印刷範囲 ファイルを選んだ時には、印刷の開始頁は1頁、終了頁はファイルの最終頁 が表示されます。 必要に応じて、印刷範囲の頁数を半角数字で指定してください。

印刷面の選択は、片面機、両面機および一頁の行数により変わります。 片面機の場合は、通常は「全頁(片面)」のみの表示と選択がされていますが、 ファイルのデータが18行/頁の場合は「全頁(片面)」、「表面(奇数頁)」、 「裏面(偶数頁)」の3つの表示になり、ラジオボタンでいずれかを選択できます。 この表面(奇数頁)、裏面(偶数頁)の意味は、ファイルの始まりから数えて 奇数番目の頁か偶数番目の頁かという意味です。

両面機の場合は、通常は「全頁(片面)」のみの表示ですが、ファイルの データが18行/頁の場合は、「全頁(片面)」と「全頁(両面)」の2つの 表示になり、最初は「全頁(両面)」の両面印刷が選択されます。 「全頁(片面)」は、18行/頁の場合のみ、各頁の間に空白頁を挿入して、 表面だけの片面印刷となります。 尚、両面機で「全頁(両面)」の場合、開始頁が表面に、その次の頁が裏面に なり、その後は表面、裏面を繰り返す両面印刷になります。 また、両面印刷で、印刷範囲が奇数の頁数の場合は、最後に空白頁が挿入され て偶数頁分のデータが出力されますので、印刷部数を複数に指定しても、 最終頁の裏面に次の部の最初の頁が印刷されることはありません。

ファイルのデータが18行/頁、22行/頁、24行/頁、35行/頁で、 点字プリンタが「TEN-100」、「TEN-10」、「New ESA721」、 「ESA721」の場合は、各頁のデータの前で専用の行間制御コードを出力し、 自動的に用紙の中に収まるようになりますが、 その他の行数やその他の点字プリンタでは、そのような信号は出力されません ので、手動で印刷モードを切り換えるなどして対応してください。 尚、24行/頁に対応した用紙サイズは、「TEN-100」は8×10インチ、 「ESA721」は10×11インチです。

2-7 部数

印刷は部単位で印刷されます。 1~999部の範囲を半角数字で指定してください。

2-8 印刷

印刷範囲、印刷部数を確認して「印刷」ボタンを押します。 出力状況を表すプログレスダイアログが現れてデータ出力を開始します。

データ出力中にプログレスダイアログの「キャンセル」ボタンを押すと、 データ出力を中止できますが、文章では行単位、図形では頁単位で中止され ます。

2-9 終了 終了するには、「閉じる」ボタンを押すか、「ESC」キーを押します。 2-10 ショートカットキー

「下記のショートカットキーで、マウスを使用しなくても操作できます。 画面の括弧で囲まれた文字のキーがショートカットキーになっております。

ショートカットキーを使用するときには、クリップボードにも音声データが出力されております。

PC-Talker や 95Reader などの音声ソフトを使用する場合は、 「クリップボードを読み上げる」ように設定にしてください。

以下の記述で、例えば Alt +1と記していますのは、 Alt キーと数字の1キーを同時に押す操作です。

- ・Alt + 1 選択されている「点字プリンタ名」と「接続場所」を 読み上げます。
- ・Alt + 2 プリンタ選択コンボボックスにフォーカスを移動します。
- Alt + 3 選択されている「印刷ファイル名」と「1行のマス数」、
 「1頁の行数」、「ファイルの全頁数」、「図形データの有無」を
 読み上げます。
- ・Alt+4 ファイル選択ダイアログを起動します。
- ・Alt + 5 設定されている印刷範囲の「印刷開始頁」、「印刷終了頁」、 「印刷面」を読み上げます。
- Alt + 6 カーソルが印刷開始頁の欄に移動して入力編集が可能になり、
 現在の「印刷開始頁」を読み上げます。
- Alt + 7 カーソルが印刷終了頁の欄に移動して入力編集が可能になり、
 現在の「印刷終了頁」を読み上げます。
- ・Alt + 8 カーソルが印刷部数の欄に移動して入力編集が可能になり、 現在の「印刷部数」を読み上げます。
- ・Alt+9 「図形出力」と「改頁出力」のチェック状況を読み上げます。
- Alt + Z 「図形出力」のチェックの有無を反転します。
- ・Alt+K 「改頁出力」のチェックの有無を反転します。
- ・Alt + S 印刷面を「全頁(片面)」に設定します。
- ・Alt+W 印刷面を「全頁(両面)」に設定します。
- ・Alt + O 印刷面を「表面(奇数頁)」に設定します。
- ・Alt+U 印刷面を「裏面(偶数頁)」に設定します。
- ・Alt + V バージョン情報のダイアログを起動します。
- ・Alt + P 印刷を開始します。
- ・Alt + Q 「 B プリント」を終了します。

3 使用上のご注意

3-1 ファイルの選択

「B プリント」では、印刷ファイルを選択し、ファイルの枠内にファイル名 が表示された時には、すでにファイルは読み込まれております。 「B プリント」と点訳ソフトを同時に使用されていて、点訳ソフトで編集した ものを印刷する場合には、たとえ同じファイル名でも、先ず、点訳ソフト側で 保存し、それを「B プリント」で再び読み込むようにしてください。 このようにしませんと、点訳ソフトの表示と同じものが印刷されません。

3-2 スプール

従来の点訳ソフトは、プリンタドライバを使用しないで、パラレル・ポート (セントロニクス)やシリアル・ポート(RS232C)に直接に出力して おります。

この「B プリント」は、墨字プリンタと同様に、プリンタドライバを 使用し、スプールを介して出力します。

スプールは、プリンタに出力する時にデータを直接プリンタに出力するの ではなく、一時的に別の場所に貯めておいて、後でまとめてプリンタに出力 する仕組みです。

そのため、「印刷」ボタンを押して、出力状況を示すプログレスダイアログが現れても、すぐには点字プリンタに出力されていない場合がありますし、 プログレスダイアログが消えても、出力が完了していない場合もあります。

すぐに印刷が始まらないからと、「印刷」ボタンを押すと次々とスプールに データが貯まってしまいます。 「印刷」ボタンを押した時に、点字プリンタが接続されていないとか、

│ 印刷」ボタンを押した時に、点字ブリンタが接続されていないとか、 電源が入っていないなどの場合は、スプールにデータが貯まっておりますので、 注意が必要です。

尚、スプールに貯まったデータの状況を見るには、 「コントロールパネル」 – 「プリンタとFAX」で出力する点字プリンタを マウスの左ボタンでダブルクリックすると表示されます。

操作手順を間違えた場合は、このウインドウのメニューバーの「プリンタ」 を開き、「すべてのドキュメントの取り消し」を選び、スプール内のデータを すべて消して、改めて印刷してください。

🍓 TEN-10					
ブリンタ(<u>P</u>) ドキュメント(<u>D</u>)	表示(V) ヘルブ	(<u>H</u>)			
ドキュメント名	状態	所有者	ページ数 サイズ	受付時刻 ポート	
A:¥TEST22.BSE	スプール中	hiptophi	N/A	16:57:31	
キューに1 個のドキュメント					

3-3 点字プリンタの接続

セントロニクスの信号は、データの送信速度が決まっていないため、 点字プリンタは高速データを正しく受け取れない場合が多くあります。 「B プリント」は、プリンタを選択して接続場所に LPT と表示され、 出力先がセントロニクスの場合は送信速度を遅くするようにして、 できるだけ点字プリンタが正しくデータを受け取れるようにしております。 しかし、接続に当たってはできるだけ、データの送信速度が決まっている RS232Cを使用するのが確実です。

LANに接続された点字プリンタに出力する場合は、プリントサーバを使用 しますが、多くのプリントサーバの出力はセントロニクスとなっています。 この場合は、送信速度はプリントサーバによりますので、プリントサーバと 点字プリンタの間に、セントロニクスをRS232Cに変換するアダプタを 使用する方がデータエラーが出ずに確実です。

*お断り

本ソフトウェアは、全ての環境で動作を保証するものではありませんことを ご承知ください。

> 〒 194-0023 東京都町田市旭町3丁目14-3 有限会社 レンテック http://www.lentek.co.jp/